

日枝神社

ひえじんじや

アクセスMAP



日枝神社 拝殿



日枝神社 本殿

創立年代は明らかでないが、現存記録により建武二年以降のことについて知ることができる。

往古新川郡針原大野に鎮座。南北朝の戦乱の折、大山町隠土に難を避け、平定の後延元元年（一三三六）富山市西中野に遷る。応安二年（二三六九）桃井直常の反乱があり、婦負郡藤井村（現富山城址）に還幸鎮座される。

これより後、天正八年（二五八〇）佐々成政富山城主となるや先例の如く崇敬の念殊のほか篤く後に現山王町に

還幸鎮座される。

天正十五年（一五八六）前田利長富山城主となり、境内地を寄進、社殿を造営、富山城下の産土神として毎年四月二十二日を以て例祭日と定めた。

明治六年（一八七三）郷社に列し、明治八年（一八七五）北神明社及び中神明社を相殿として合祀。明治三十二年（二八九九）八月県社に昇格した。明治三十二年八月十二日富山市大火により宏壯を極めた社殿悉く焼失したが、明治四十三年（一九一〇）に本殿及び拝殿等竣工。

昭和二十年（一九四五）の富山大空襲により全社殿悉く

奉拜
富山
日枝神社
令和 年 月 日



灰燼に帰したが、御神体は予め本殿地下の防空壕に御避難

御安泰を得た。焼失後直ちに仮本殿、仮拝殿を建設し、

昭和二十一年の新年初詣を行

い昭和二十三年には木造拝殿を、次いで昭和二十八年に現

本殿、昭和四十二年五月に拝殿、昭和四十三年には日枝会館を造営し、昭和五十四年に

は拝殿、日枝会館の増改築を

実施、更に平成の御大典を記念して、社務所の増改築が行

なわれ平成三年に竣工した。

これにより荘厳華麗な社殿・社務所が復興再建され諸祭儀

神事行事は、いっそう盛大に執り行なわれるに至った。

《社格》県社 神社本庁別表神社

《鎮座地》富山県富山市山王町四一・二

《御祭神》大山咋神、大己貴神、天照大御神、豊受大御神

《電話》〇七六・四二二・六三三八



公式HP